

## 編集後記

伝統ある富山医科薬科大学医学会誌という誌名では今号が最終号となる。諸般の事情で完成が遅れたが、書誌学的な発行日は平成17年9月30日とした。平成17年10月1日をもって、富山県内の3つの国立大学法人の再編統合により、旧富山大学、旧富山医科薬科大学、旧高岡短期大学は、新たな富山大学となった。これに伴い、本医学会も名称を、富山大学医学会と変更することとなり、学術雑誌名も富山大学医学会誌と改題することとなった。英文名称は、当初より Toyama Medical Journal であり変更不要であった。先人の先見の明に脱帽する次第である。ISSNは改題で問題なく引き続き同じものを称する。

誌名では最終号であるが、新規に着任された若手教授、神経内科学の田中教授、再生医学の二階堂教授、生理学の田村教授、薬理学の服部教授、地域・老人看護学の炭谷教授の諸先生方による意欲的な稿を就任講演として掲載することができた。それぞれ越中富山の地の新しい講座の礎石となるにふさわしい力作であるのでご一読をお勧めする。また、歴史ある第110回日本解剖学会総会・全国学術集会を開催された解剖学大谷教授による報告も掲載した。学問を究め全国に発信する努力は並大抵のものではない。このほか、従来の編集スタイルに則り、総説、症例報告、学位関連の記事などを掲載した。

次号は、新生富山大学医学会誌となる。表紙、構成、掲載カテゴリーなどを一新し、地域に根付き世界に発信する医学会誌として企画中である。具体的には、研修医の症例報告や医学生の研究などでも一定の水準に達しているものは掲載するコーナーの新設、各講座で開催している談話会や懇話会、セミナーなどの抄録を積極的に収載し様々な学術活動の発信の拠点となる、などである。是非、会員からも積極的な意見を御願いたい。

編集長 奥寺 敬 (救急・災害医学)

## 編集委員

奥寺 敬 (委員長, 救急・災害医学)

白木 公康 (ウイルス学)	小川 宏文 (分子神経科学)
井上 博 (第二内科学)	田中三千雄 (成人看護学)
広瀬 幸美 (小児看護学)	木村 友厚 (整形外科学)
落合 宏 (基礎看護学)	高野 康雄 (第一病理学)